

『さっきゃま魂』

R5. 7. 7 第7号

発行人：校長 中山 未永

目標に向かって！



子ども達の提案によって、「さっきゃま king5000周チャレンジ」の取組がスタートしました。これは、「運動会までに、全校児童で5000周を目指し、朝の走ろう運動を頑張ろう！」というものです。早速、全校児童にカードが配られ、子ども達は、自分が走った周数を各自チェックしています。

自分たちの目標とする姿をイメージしながら、その目標達成の手立てを考え、進んで実践しているところに、子ども達の意識の高さと前向きな姿勢を感じ、とても嬉しく思っています。

「今日、何周走った？」

「11周です！」

これまでと違って、子ども達の走りにも力強さと速さを感じます。

「やらされる走りから、目標をもった走り」に変わったことで、これからの走ろう運動は、ますます充実したものになると考えています。

これは、子どもの体力向上はもちろん、たくましい心を育てることにもつながっています。2学期には、運動会・小体連も実施されます。毎日の地道な積み重ねが、大きな力となって発揮されることを期待しています。



校外での深い学び

6月29日(木)5・6年生の校外学習が行われました。見学地は、五島市庭園隠殿屋敷・堂崎天主堂・図書館・ふるさと館、そして福江小学校と盛りだくさんでしたが、最後まで真剣に学ぶことができました。その中で、私が嬉しく思ったことをいくつか紹介します。

1つ目は、「挨拶」です。どこに行っても、誰に対しても、自分たちから「おはようございます」と気持ちよい挨拶をしていました。挨拶をした人もされた人も、清々しい気持ちになります。「よし、頑張ろう」という気持ちにもなります。心の通じ合う挨拶のおかげで、その後の活動も充実していました。

2つ目は、「返事と反応」です。話の聞き方についても、挨拶と同じように重点的に指導してきたことですが、ずいぶん定着してきたと感じました。子ども達が、しっかりと反応するので説明をして下さる方も、気持ちよく話げできたと思います。説明の後には、質問の時間もありましたが、図書館では、20以上の質問があったのでは・・・。次々に出てくる子ども達の質問に、職員の方も大変だなあと感じてましたが、「とても楽しかった」と声をかけてくださいました。子ども達のやる気が伝わり、新しい発見がたくさんありました。

3つ目は、「落ち着いた態度」です。今回は、来年度の統合を見据えて、福江小学校との交流学习も計画しました。控え室に入った子ども達は、わくわく・そわそわ、とても興奮した様子でしたが、福小の子ども達が迎えに来ると、張り切って控え室を出て行きました。それぞれの学習の様子を見ましたが、本校の子どもがどこにいるのか分からないくらいに福小の子ども達になじんでいました。落ち着いて自己紹介をしたり、進んで発表したりするなど、崎小での学習と変わらない姿を見ることができ、とても安心しました。



収穫の多い1日に満足するとともに、更なるレベルアップを目指して頑張らなければという思いもこみ上げてきました。